

第3回 秩父市立中学校部活動地域移行推進協議会 議事録

日時 令和6年 9月18日(木)

15:00~16:30

会場 秩父市歴史文化伝承館会議室

1 開会 15:00 (9名参加)

2 挨拶 秩父市教育委員会教育長
秩父市部活動地域移行推進協議会長

3 委員紹介

4 情報提供

- (1) 当協議会開催の目的について
- (2) 県の推進計画について
- (3) 秩父市の現状について(前回協議会以降の取組について)

5 協議

(1) 部活動地域移行に係るアンケート結果について

《中学生アンケート結果について》

- ・生徒がやりたいこととして範囲を広げすぎないか。
- ・アンケート結果から、生徒には半数は今後の課外授業について自分でやりたいことを選択し、かつ休みを含めて自由にデザインできる活動へのニーズが約半数あることがわかる。

《教員アンケート結果について》

- ・地域クラブ指導協力希望の教員の調査について、「スポーツ経験がある教員」と「ない教員」とで考えが異なるのではないか。詳細調査をしたらどうか。
- ・専門性を土日に生かす機会となればよいと思う。
- ・兼職兼業を希望する教員をしっかりと把握するため先生方の活動規模を詳細に把握し、地域移行可能な活動内容を把握することが重要ではないかと考える。
- ・地域移行に関わる地域の資源調査を行い、人材環境把握を行うことも必要ではないか。

《保護者アンケート結果について》

- ・部活動は現在、保護者の安心感につながっている。地域移行への不安がある。
- ・保護者は送迎を不安視している。
- ・クラブチームは、家庭にとって費用面が負担ではないか。
- ・アンケート内容について、休日だけなのか平日も含めてのことなのか混在している質問がある。整理して再調査も必要なのではないか。

《総括》

- ・アンケートからの課題は3点、教員への負担、保護者の費用面での負担、送迎の負担、これらへの対策が収束点となると考える。

(2) 中間報告作成に向けて(課題と改革の基本方針等)

《中間報告案の内容表記について》

- ・地域クラブ「質が高い指導」は本当か。
- ・地域のニーズとうまくかみ合うとよい。
- ・平日の部活動と休日の地域移行クラブ活動との関連を考えてほしい。

《地域移行に向けて運営面での課題》

- ・部活動地域移行を専門に担う人・機関が必要なのではないか。
- ・実行委員会のような機関が必要ではないか。
- ・地域移行については、本当は民間地域移行の設立会社がスポーツクラブを運営し、参加者から会費を集め、外注派遣指導員を派遣し、そこに任意の教員も登録し、施設の予約や大会のエントリーも行ってもらえるのが理想だが、秩父の現状ではその方式は望めない。他自治体の先行例を示し、秩父の事情と比べることができるとよい。

- ・しぼった運営モデルを1・2示し、試験運用していくのがよいのでは。
- ・秩父の子どもたちの人数を考えれば、近い将来、各種目1チームにならざるを得ない状況になる。
- ・現在、合同で行っている部活動にそれ以外の学校でその種目をやりたい子たちの参加を認めて、そこに地域の指導者が参加して活動するといったモデルが理想なのではないか。この合同部活動に携わってる顧問の教員は、地域移行する際に兼職兼業での任意参加となるので、地域のクラブの方たちに指導を移行していく。そうした運営の形を考えると、教育委員会等が窓口とならないと、物事が進まないのではないか。
- ・「地域移行したら、あとはもう地域のクラブチームだけで考えて」というと、何か問題があったときどうなるのかと一番不安に思うのは、そこに所属する子の保護者の方々だと思う。問題が起こった際の相談場所を設置する等、責任の分担も含め検討が必要だ。地域移行となった際の責任の所在があやふやになるのも心配だ。
- ・運営がうまくいくのか、指導者が集まるのか。ボランティアでは持続可能ではない。

《地域クラブについての課題》

- ・秩父市においては生徒の主体性の観点から希望する生徒向けの既存部活動を維持しつつ、ニーズの高い種目や文化活動の地域クラブを設置し、特に専門性と指向性の二つのニーズにそれぞれ対応したクラブの設立が求められるのではないか。それには指導者の確保が絶対的な条件になる。
- ・実現可能な広域的、例えば周辺の市町も含む広域的な地域移行モデルケースを設立し、可視化させることで地域の住民の方々の理解促進を図ることが必要ではないか。
- ・地域移行後のクラブ運営は実際に費用がかかる。部活動では、補助金等の支援もあるが、大会参加へのバス代等は、クラブチーム指導者の自己負担が大きい。
- ・地域クラブは部活の大会に参加可能なのか。
- ・クラブチームの会議は平日のことも多い。指導者は誰もができるわけではない。
- ・部活動の意義を土日限定で地域移行に生かしていけないものか。
- ・休日の活動はクラブのコーチと教員の連携が必要だと思う。
- ・部活動の意義を地域クラブにも引き継ぎたい。土日限定で地域移行に生かしていけないものか。

《今後のスケジュールについて》事務局より確認

- ・10月末に中間報告をまとめる。
- ・現在、活動環境整備期間の一環として、合同部活動を進める。
- ・今回いただいた意見を基に、先行事例を示す。

《総括》

- ・運営については、次回会議にて他地域モデルを参考に紹介するが、秩父の地域の現状では、大きなスポーツクラブに委託すること難しい。
- ・中学生の活動を地域移行していく上で、部活動の担ってきた意義を明確にし示していく。

(3) その他

- ・休日の部活動地域移行と平日の部活動について、切り離して考えることは難しいのではないか。
- ・「休日のみ」で考えていくのが現実的だと思う。
- ・小学生まではスポーツ少年団が育成を担っているが、中学生からはスポーツ協会が受け皿となる。タイムスケジュールにおいて地域移行のゴールの期間が決まっているなら、休日の部活動だけの検討では間に合わない。平日も含めてのアンケート調査が必要だと思う。難しい問題山積だが、意識調査結果に寄り添ったものに近づけていくことで収束していくのではないか。

《総括》

- ・今回の諮問は休日部活動に係る地域移行についてである。その点の答申を検討していく。

6 事務連絡 次回の協議会は令和6年10月31日（木）15時～16時30分予定

（会場：秩父市歴史文化伝承館2階会議室）

7 閉会 16：30